

厳しい闘いのなかで組織強化・拡大を！

〔地本第84回定期大会 メインスローガン〕

一人ひとりが力を発揮して、組織拡大と全国一般運動の前進を実現し、働く者にとって安心・安全な社会と職場をつくりだそう！



2012年
10月4日
大会特集号

全国一般石川地方労働組合 教宣部
金沢市駅西本町3-13-5
Tel. 076 (262) 0724
発行人 久田友恒

九月二十三日、地場産センターにおいて地本第八十四回定期大会が開催された。討論の後、地本の新年度の運動方針と、久田執行委員長をはじめとする新執行部体制、地本のストライキ権が確立された。今大会を報告する。

本田副委員長が開会を宣言。議長団は高澤代議員（天狗支部）、佐野代議員（北中自校分会）が務めた。

地本を代表しあいさつに立った久田委員長は、長引く不況と不安定な雇用・政治経済という社会状況に視野を広げ、労働者・労働組合がナショナルリズムに巻き込まれず、賃金論の原点に立ち返って職場で奮闘すべきことを訴えた。（別掲）

来賓として、全国一般評議会・大浦議長、連合石川・富瀬副事務局長、泉平和運動センター・柚木代表、社民党石川副幹事長・総選挙二区立候補予定の細野祐治氏、民主党石川・一川保夫代表、白山市議会議員立候補予定の山口としや氏、元衆議院議員の桑原豊氏、北陸労金・上田副理事長、全労済石川・鈴木専務執行委員長よりあいさつを受け、自治労石川県本部はじめ多くの皆さまから頂いたメッセージが披露された。なお、社民党石川の盛本代表、清水幹事長もご出席頂いた。大会成立宣言、十二年度

の経過報告、決算報告、十三年度運動方針案等が提案され承認された。午後の討論は、三つの争議職場からの報告、原水禁広島大会、沖繩平和行進に参加した仲間の報告、七名の仲間が登壇した。（別掲）



委員長再任にあたり決意を述べる久田委員長

活発な討論の後、全議案（第一〜五号）が賛成多数で可決され、三本の特別決議と大会宣言が満場の拍手で採択された。また山口としや氏、ほその祐治氏の推薦も決定した。大会に先立ち実施された地本役員およびスト権確立投票について、全員の信任とスト権が確立されたことが報告され、久田委員長一種井書記長のもと新年度も取り組むことが確認された。最後に、久田委員長の再

今日は、評議会の大浦議長、そして多くの来賓の皆様が、私たち全国一般のために忙しい中駆けつけていただきました。本当にありがとうございます。結成五〇周年をむかえた本年度はその歴史に学び、全国一般運動を力強く進めてきました。苦闘する仲間を、職場をこえて支え、困難な局面をこじ開け闘いをつくらせてきました。また、脱原発の闘い、反戦・平和の闘い、職場の労働環境を改善する闘い、組織拡大等について全力で闘ってきました。本大会では、これらの闘いを総括し、次年度の活動方針を確立しなければなら

内には、遅々として進まない東日本大震災からの復興、福島第一原発の収束作業、竹島・尖閣諸島問題等々。そんな中で行われた民主



ナショナルリズムに巻き込まれず、全国一般運動の原点を学び奮闘を！

執行委員長 久田 友恒

てきています。組織労働者の闘いが今ほど必要な時はないと思います。来たるべき総選挙では、石川二区から脱原発、生活再建、消費税増税反対を掲げて『ほその祐治』さんが

任のあいさつを紹介する。「委員長を継続することになった。全国一般運動を若い世代に引き継いでいく

ていくのは組織労働者、とりわけ全国一般運動の前進しかない。全ての仲間が、共に頑張ろう！」

することを目指してきました。「経営危機だから要求できない」「儲からないから賃上げはできない」という考え方を突破するために論議し、支援の闘いを作ってきました。その結果、と

でも無理と思われた職場で賃上げを勝ち取りました。われわれの要求する賃金とは一体何なのかを学習しながら、理論武装をやっていくということも、今後われわれ全国一般運動の前進にとって重要です。朝に作って夕べにつぶれるといわれる中小労働運動の困難の中で諸先輩が培ってきた全国一般運動をさらに前進させるために頑張る意志を固める場としても、活発な論議で今大会をぜひ成功させていたいただきたいということを願っています。委員長としての挨拶とします。

執行委員長	久田 友恒	林ベニヤ支部（七尾分会）	（再）
副執行委員長	本田 良成	書記局	（再）
書記長	至当 和義	加南加賀自校分会	（再）
書記次長	中川 哲英	東部自校分会	（新）
執行委員	種井 一平	書記局	（再）
執行委員	尾崎 彰信	書記局	（再）
執行委員	福嶋 貴広	天狗支部（天狗分会）	（再）
執行委員	竹井 大樹	城東自校分会	（再）
執行委員	吉見 康之	北陸冷蔵分会	（再）
執行委員	辰田 義信	丸一石油分会	（再）
執行委員	山崎 拓也	門前サンケン支部	（新）
執行委員	日誌 伸英	北鉄自校分会	（新）
執行委員	西 雅夫	石川ユニオン支部	（再）
執行委員	樋口 敦哉	林ベニヤ支部（舞鶴分会）	（再）
執行委員	南 睦治	北陸中部自校分会	（再）
執行委員	横山 和明	金沢製粉分会	（新）
執行委員	古田 春夫	石川ユニオン支部	（再）
執行委員	藤井 泰一	羽咋自校分会	（再）
執行委員	今井 政浩	金沢市清掃分会	（新）
執行委員	藪 健太郎	魚市冷蔵分会	（新）
執行委員	今村 裕也	市場冷蔵分会	（新）
特別執行委員	高原 壯夫	元執行委員長	
特別執行委員	荒木 宗昭	元執行委員長	
特別執行委員	宅本 門示	かなざわ地協事務局長、元副委員長	
特別執行委員	堂下 健一	羽咋勤労協、志賀町町議会議員	
特別執行委員	川口 昭一	元書記長	
退任役員			
執行委員	福生 幸雄	門前サンケン支部	
執行委員	上野 清二	北鉄自校分会	
執行委員	松山 高士	東部自校分会	
執行委員	高原 英彦	金沢製粉分会	
執行委員	大田 和弘	金沢市清掃分会	
執行委員	西谷 弘幸	魚市冷蔵分会	

運動方針案に
ついての討論



室宮代議員
(城東自校)

青年女性部で、先日、オスプレイ配備問題を学習した。「オスプレイって、何？」という質問が出た。自分も振り返ると、新聞などあまり関心がないときもあった。労働組合としてどう考えるべきか。青年層の育成・強化という観点で、地本や職場の先輩たちに論議に加わってもらおう機会を要望する。



引地代議員
(サンケン)

新たな職場で働き一年三ヶ月が過ぎた。石川サンケン労組の組合員と同じ職場で働いて分かってきたこともある。同労組は、成果主義を取り入れた賃金表で、多くの女性の賃金は低く、様々な声がある。他方、私たちは長時間の通勤と仕事で互いを思いやる心と団結が弱くなっていないか。



奥野代議員
(林ベニヤ舞鶴)

今春闘は、会社は七尾と舞鶴の賃上げ格差をつけた。年配者の賃上げゼロなどの攻撃をかけてきた。赤旗掲示や残業拒否闘争ではね返した。今まで一発回答だ

つた一時金も、修正回答を出させた。会社は厳しければ賃金カットは当然と言うが、我々の賃金は生活給。会社が儲かった時の分け前ではない。闘いから学んだ。



竹内代議員
(北中自校)

金沢の自校四校は横並びの賃上げ・一時金で解決し平穏に見えるが、ここ数年、組合員の減少や若年化で会

社も強気だ。分会の体制が崩れないよう横のつながりを強化したい。皆さんの力も借りて頑張る。



甲谷代議員
(城東自校)

早急に組合員を拡大し、全国一般の闘いを残す取り組みをもつと強力に進めなければ。地本と各職場の執行部は、あらたな担い手をつくるようにつくっていくか

真剣に考えなければならぬ。この二年間がとても重い。要だ。



花澤代議員
(大同テクノ)

私たちの闘いに対し、経営者側からの攻撃だけではなく、労働側からも納得のいかない非難がある。今後どのように対応していくか聞きたい。



中川代議員
(東部自校)

自校では、羽昨、能中、加南加賀の仲間が賃金カットで苦しんでいる。二月の春闘討論集会、六月の「部会の日」で団結を強めてきた。また、大同テクノ裁判の傍聴や、長野労組アルピコ自校の売却阻止闘争など、仲間の支援にも取り組んできた。この部会の団結あればこそ石川の自校だ。

争議職場の仲間
からの報告

大同テクノ/花澤代議員



花澤代議員
(大同テクノ)

一回の集会で、その対策、組織拡大、団結強化の暗中模索している。職場で私たちの闘いを広げたい。労働局が会社の偽装請負を認め、行政指導した。これからは諦めず頑張りたい。

天狗支部/石田代議員



石田代議員
(天狗支部)

復職を会社が拒否し続けた問題で、職場の取り組みを基礎に、就労闘争、地位保全仮処分など、支部をあげて粘り強く闘ってきた。その結果、会社は加藤さんをパートで雇用すると提案してきた。大き

な前進だ。職場復帰を勝ち取り、支部全体で加藤さんを支えていく。

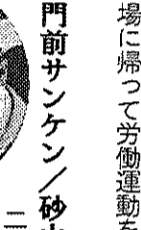
加藤組合員



加藤組合員
(加藤 隆)

三十八年勤務し、病気になるた後に戻ろうと思つたら、会社がはねつけた。職場復帰はできないのかと諦めず闘ってきた。就労闘争で出勤後に朝礼で帰る時、一緒に職場に入りたくて情けなかった。しかし、皆が「頑張つて」と声をかけてくれた。自分を支えてくれた仲間へ感謝したい。職場に帰って労働運動を頑張る。

門前サンケン/砂山代議員



砂山代議員
(門前サンケン)

二〇一〇年二月二十三日、この日は絶対には忘れない。門前工場を残すための仲間の支援を受けて闘ってきた。昨年六月に閉鎖は強行されたが、

労働委員会、裁判闘争を続けている。何より厳しい闘いは職場での闘い。毎日の長時間の通勤で心身クタクタになり、勤務も不規則で組合員と顔を合わせる時間もない。一二年春闘はこうした状況で取り組んだ。新たな職場で、団結を強化し、一歩一歩闘いを進めていく決意だ。

原水禁広島大会

垣内代議員 (林ベニヤ七尾)



垣内代議員
(林ベニヤ七尾)

初めて原水禁に参加した。私は今まで、日本軍は他国に対して何もしていないと思つてきた。しかし、実際に行つてみるとそれは違った。初日、原爆資料館を見学し、水を求めてさまよう人形の展示に釘付けになった。「なぜ

今後の職場大会の日程

支部、分会、単組	月日	時間	場所
羽昨自校分会	10月5日(金)	15:40~	職場
大同テクノ分会	10月13日(土)	9:00~	加賀労働会館
城東自校分会	10月13日(土)	13:30~	職場
北中自校分会	10月13日(土)	14:00~	職場
林ベニヤ七尾分会	10月15日(月)	9:00~	七鹿労働会館
北鉄自校分会	10月20日(土)	13:30~	蓮花寺会館
東部自校分会	10月20日(土)	14:00~	ホテルウエルネス能登路
林ベニヤ舞鶴分会	10月21日(日)	9:00~	舞鶴勤労者福祉センター
石川ユニオン支部	10月25日(木)	18:30~	地本3階
加南加賀自校分会	10月28日(日)	9:30~	職場(加賀校)
天狗支部分会	10月29日(月)	17:30~	西南部公民館
能中自校分会	10月31日(水)	14:30~	職場
丸一石油分会	11月4日(日)	未定	未定
門前サンケン支部	11月18日(日)	未定	未定

(10/4現在)

オスプレイの強行配備に強く抗議する!

翌日、道の真ん中を行進したことに驚いた。ひめゆりの塔で、何も知らない普通の学生たちが救護班としてかり出され、人が人でなくなつていく行為が三ヶ月続き、今なお見つかっていない人も沢山いることを館長から聞き、悲しくなつた。

三日目、平和祈念公園が沖縄戦最後の地と知り、見た目と全く違うため驚いた。NHKからどんな思いで参加したかと質問され、「基地と原発はつながっている」と話した。最終日、ようやく普天間基地の周りを歩く時が来た。有名な沖繩国際大の米軍ヘリ墜落現場は、燃えた木とプロペラの傷跡のついた壁だけが残つていたが、とてもゾツとした。時間の都合上、最後の県民集会まで参加できなかったが、よい経験だった。

今、沖繩にオスプレイ配備の問題がある。飛行の安全性ではなく配備を止めさせなければ。これからは米軍基地反対、脱原発運動を、平和センターの仲間と共に頑張りたい。

沖繩平和行進

上岡代議員 (門前サンケン)



上岡代議員
(門前サンケン)

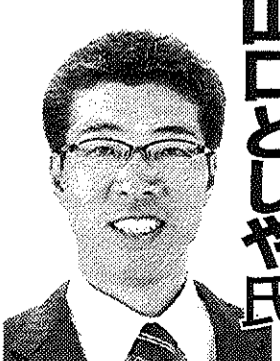
沖繩の歴史を事前に勉強して当日にのぞんだ。初日、一五〇名の結団式で、与那国島から引き継いだことを知り、もう始まっているんだと気付かされた。

地本推せん候補

総選挙 石川二区立候補予定
ほその祐治氏



白山市議会議員
選挙立候補予定
山口としや氏



役員歴10年者表彰

甲谷徳幸 (城東自校分会)
吉岡了 (金沢製粉分会)

これからもよろしくお願いします。